

特集

主体性を育む「問いづくり」

主体的に学ぶ力を養う「問いづくり」

QFT で身につく 3 つの思考 佐藤広子

【座談会】主体的な学生を育てる試みを

——QFT を体験して学んだこと 山田かおる・萬田律子・
佐々木津矢・加藤久美子・佐藤広子

「問いづくり」セミナーで学んだ学生の主体性を伸ばす

方法 江川美由紀

「問いづくり」を活用した授業の実践

——「問いづくり」スパイラルの活用 天野由貴

【焦点】

第 107 回看護師国家試験を振り返って 柳みゆき

【Scramble Zone】

学生×教員 対話セッション・1

山根実佳・岡本恭介・若村智子・高塚由香里・堀田佐知子

【連載】

看護に恋した哲学者と読む ベナーがわかる！腑に落ちる！・3

榊原哲也

ティーチング・ポートフォリオ作成講座・4 栗田佳代子・吉田 壘

N と E と LGBTQ・4 浅沼智也

つくって発見！ 美術解剖学の魅力・7 阿久津裕彦

授業を良くする！ 教育関連理論・9 西野毅朗

編集後記

●1年間連載してきた「専門家と市民の架け橋 CoSTEP」が今号で終了しました。最終回で紹介された修了式に私も参加してきたのですが、科学技術コミュニケーションの「手法」はもちろん、「対話」や「伝える意味」を1年間学んできた受講生だけに、口頭発表もポスター発表もとても巧みで工夫に富んだものでした。

●日本の基礎教育ではプレゼンテーションスキルを磨くプログラムが、これまでほとんど提供されていないため、教えることが仕事である教員であっても、「伝える」ことが得意でない人は珍しくありません。コミュニケーション能力の必要性が強調される看護師も例外ではないでしょう。これから学習が変わるとはいえ、子どもに戻れない以上、看護師であり教員である看護教員には、CoSTEPのような機会を利用して、「伝える」能力を磨いていただきたいと思います。第9回(3号)でご紹介しましたが、オンライン講座もスタートしました。ぜひ読者の皆さんもCoSTEPに参加してみてください。

……大野

●身体拘束を語ることはケアそのものについて考えること、今回特集にご登場いただいた先生方が、そろそろそう仰っていました。みなさんはどう思われるでしょうか。拘束に限らず、基礎教育と臨床の関係は、理想と現実という二項対立に回収されてしまうことがあります。しかし果たして本当に、教員は医療の現実を知らず、臨床は理想を失ってしまっているのでしょうか。本特集が、基礎教育と臨床の協働においても、慣習をとらえるヒントとなっていれば幸いです。●慣習といえ、大相撲の巡業で倒れた市長に駆け寄った女性看護師の姿。看護職を応援する一立場として、本当にすばらしいと感じました。看護協会などから顕彰(相撲協会へレームも?)されてもよいのでは……と感じましたが、顕彰のために駆け寄ったわけではありませんよね。

◎編集室ツイッター
http://twitter.com/KANGOKYOIKU

看護教育 第59巻 第6号 2018年6月25日発行(毎月1回25日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2018, Printed in Japan

(1部) 定価: 本体1,500円+税

2018年・年間購読料(増大号を含む12冊): 冊子版15,540円, 冊子+電子版/個人18,540円, 電子版/個人15,540円(いずれも+税, 送料弊社負担)

発行: 株式会社医学書院 代表者: 金原 俊 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部 TEL: 03-3817-5659

『看護教育』編集室 TEL: 03-3817-5776 メールアドレス: kankyou@igaku-shoin.co.jp 担当: 番匠・大野・南部

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY 出版者著作権管理機構 委託出版物

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。0047-1895/18/紙: ¥500/電子: ¥750/論文/JCOPYが本誌の頁表記に並んで記されているのは、1論文1回複製につき紙は500円、電子版は750円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名と併せて本表示をご提供くださるようお願いいたします。

『看護教育』は、株式会社医学書院の登録商標です。

Vol.59 No.5

2018 年 5 月
特集

授業にゲームを

これまでは、「授業にゲームを取り込む」というと、「そんなことでは学力がつかない」という批判が必ず出てきました。しかし、本当にそうでしょうか。ゲームは、「ゴール、ルール、フィードバックシステム、自発的な参加」という 4 つの要素で特徴づけられます。お気づきだと思いますが、この 4 つは授業でも必ず求められるものです。授業とゲームの違いがあるとすれば、今までの授業は「自発的な参加」ではなく「強制的な参加」が主であったことぐらいでしょう。

学生の主体的な学びを重視するのであれば、ゲームの考え方を授業に応用するのが近道です。ですから、まずは授業のなかでゲーム性の活かせる部分に取り入れていくことから始めてはいいかがでしょうか。学生の学びの活性化は、きっと他の部分にも良い影響を与えるはずですよ。

今回は、教育とゲームの関係を整理したうえで、授業へのさまざまなゲームの取り入れ方をご紹介します。ゲームを取り入れることで、「こうでなくてはならない」という考えから自らを解放し、学生だけでなく教員自身も「自発的に」取り組める看護の授業の工夫にチャレンジしてみてください。

- 教員よ、ゲーム・デザイナーたれ！——看護教育におけるゲーミフィケーション導入のすすめ……………藤川大祐
- シミュレーションをゲームとして考える——子育てバーチャル体験教育システムを例として……………太田浩子
- HUG で考える災害現場での医療者としての対応……………牧野典子
- 認知症予防ゲームづくりで学生が得られること……………庄藤智恵美
- iPEG とビブリオバトルを用いた多職種連携のための初年次教育……………廣瀬清英
- 教育に役立つ「シリアス」ゲームとは何か？……………福山佑樹



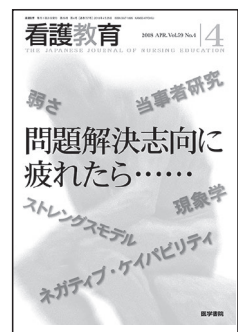
Vol.59 No.4

2018 年 4 月
特集

問題解決志向に疲れたら……

1980 年以降、看護は問題解決思考を基盤にした看護過程によって大きく発展を遂げてきました。問題解決能力の向上とは、迅速な判断、高度な専門性、強い思考力を求めるものです。確かに、科学の進展とは、こうした側面もついででしょう。そして看護には、問題解決を優先する、問題解決志向と呼べる文化が醸成されてきました。しかし、特に近年、精神科看護や慢性期看護など、疾患をかえたまま生きていく患者を支える領域から、ネガティブ・ケイパビリティ、ストレングスモデル、当事者研究など、問題解決だけではとらえきれないケアの諸相が描かれるようになっていきます。そうしたケアは、看護師などの医療者が、患者の問題を解決しようとする前提となる発想自体への深い問いかけが秘められています。また、問題解決志向は、教育においては、学生の課題やできていない点に気がつきやすく、教育効果を性急に求め、学生を管理して導こうとする発想につながります。しかし、みなさまも、学生時代に成績が芳しくなかった学生が、卒後、臨床現場で活躍されている例もご存知ではないでしょうか。教育には、学校で花開かなくとも、そうした可能性の種を育む役割もあるはずです。今後も、看護教育において、問題解決能力の育成は重要なテーマであり続けるでしょう。しかし問題解決志向が強くなりすぎると、みなさまも、学生も、患者もきっと疲れてしまうのではないのでしょうか。本特集でご紹介する、問題解決志向ではないケア、また医療者のあり方が、今後のみなさんにとって何かのヒントとなれば幸いです。

- 弱い教員からのもの語り——学生と同じく、弱さを抱えた私……清水隆裕
看護教員のあり方への危機……入江拓
- 【インタビュー】答えの出ない事態に耐える力：ネガティブ・ケイパビリティが支えるもの——帯木蓬生先生に聞く
- 【インタビュー】教育のパターナリズムへの問い——当事者研究から——向谷地生良先生に聞く
- 当事者に聞く姿勢を伝える——ストレングス・マッピングシートを活用した演習……………菅間真美
- 【対談】「弱さ」の教育学のために——現象学がみつめること……守屋淳／西村ユミ



[2018 年 3 月号 (Vol.59 No.3)]

私たちのストレスケア

[2018 年 2 月号 (Vol.59 No.2)]

VR で未来を変える

[2018 年 1 月号 (Vol.59 No.1)]

インストラクショナル
デザインを活かす

[2017 年 12 月号 (Vol.58 No.12)]

省察的実践者を育む
シヨーンからの提起とともに

[2017 年 11 月号 (Vol.58 No.11)]

ティーチング・ポートフォリオ
で得られること

[2017 年 10 月号 (Vol.58 No.10)]

実践的思考力を育む

バックナンバーのご注文・在庫照会について

- 2016 年 4 月号 (Vol. 57, No. 4) 以前の号は、東亜ブック (TEL.03-5947-4781, FAX 03-3923-4539, <http://www.taabook.com/>)
- 2016 年 5 月号 (Vol. 57, No. 5) 以降の号は、医学書院販売部 (TEL.03-3817-5659) にお願ひします。